

2015 年度（平成 27 年度） スケジュール

2015/04/13

中澤祥二 (nakazawa@ace.tut.ac.jp)

科目名	構造材料力学 [Structural Materials and Mechanics] A202 教室 前期 1 火曜日 3 時限目 (13:00~14:30)
授業の内容	前期 1 : 断面定数, 応力・ひずみなどの材料力学の基礎に関する学習 (担当 : 中澤) 第 1 週 応力とひずみ (講義・演習) 【4/13】 第 2 週 断面 1 次モーメントと図心 (講義・演習) 【4/20】 第 3 週 断面 2 次モーメントと断面係数 (講義・演習) 【4/27】 第 4 週 梁の曲げ応力度 (講義) 【4/30】 (月曜日の講義) 第 5 週 梁の曲げ応力度 (演習) 【5/11】 第 6 週 梁のせん断応力度 (講義・演習) 【5/18】 (休講) 5/26 (火) の 3 時間目 第 7 週 座屈現象 (講義・演習) 【5/25】 第 8 週 総合演習 【6/1】 前期 2 : 静定構造 (梁) の変形計算 (担当 : 中澤) 第 9 週 弾性曲線法 (講義) 【6/8】 第 10 週 弾性曲線法 (演習) 【6/15】 第 11 週 モールの定理 (講義・演習) 【6/22】 第 12 週 カステリアーノの定理 (講義) 【6/29】 第 13 週 カステリアーノの定理 (演習) 【7/6】 第 14 週 仮想仕事法 (講義) 【7/13】 第 15 週 仮想仕事法 (演習) 【7/27】 第 16 週 定期試験 【8/3】 * 講義には電卓を持ってくること。
テキスト	参考書 : 谷資信, 他, 建築構造力学演習教科書・改定版, 彰国社, 2003
成績の 評価法 評価基準	評価方法 : 原則的にすべての講義に出席し, 課題 (レポート) 等を提出したものに つき, 下記のように成績を評価する。中間試験と期末試験の成績から評価を行う。 評価基準 : 中間試験と期末試験の評価がそれぞれ 55 点以上であるものを最終評価の対 象とする。中間試験と期末試験の平均点を評価点とし, 上記の達成目標の達成度に対 して, 評価点 (100 点満点) が 55 点以上を合格とする。80 点以上を A, 65 点以上 80 点未満を B, 65 点未満を C とする。
担当教員の部 屋・電話番 号・Eメール アドレス等	教官室 : D-816 内線番号 : 6857 Eメール : nakazawa@ace.tut.ac.jp TA : 藤田 将行 (修士 1 年生, D-707)